

展示替の御案内

No.	展示場所	展示部門	展示分野等	資料名	備考
1	1階 総合案内 横	美術・工芸	刀掛	螺鈿刀掛	螺鈿で花鳥を表現した刀掛
2	2階	歴史	玉里島津家	島津重豪筆「千年固」掛幅	8代藩主島津重豪が、安永6(1777)年に加久藤で鷹狩りを行った際に揮毫した書
3	2階	歴史	玉里島津家	島津斉興筆 白蓮之図掛幅	10代藩主島津斉興が、仙巖園の東北に造営した花倉御茶屋の小襖に、自ら描いた絵
4	2階	歴史	玉里島津家	島津重豪筆「壽」字掛幅	8代藩主島津重豪の書
5	2階	歴史	玉里島津家	団扇の瓦(薩摩焼の釘隠)	薩摩焼の陶製釘隠で、花鳥などが描かれている。
6	2階	歴史	玉里島津家	台付置時計	玉里島津家に伝わる大名時計(和時計)
7	2階	歴史	玉里島津家	島津久光筆「祥光」掛幅	徳洋は、島津久光の幼少時の号。久光が13歳のときに書いた書
8	2階	歴史	玉里島津家	西南戦争ニ付勅書	明治10年3月、明治天皇の勅使・柳原前光が、島津久光に渡した西南戦争についての勅書
9	2階	歴史	玉里島津家	西南戦争錦絵「勅使鹿兒島江到着図」	楊州斎周延による三枚続の錦絵。柳原前光が、島津久光・忠義の父子等に勅命を下している様子を描く。
10	2階	歴史	玉里島津家	勅命ニ対スル久光公の奉答書	勅命に対する島津久光の奉答書。久光は西郷、大久保・川路ら双方の不義を指摘し、休戦して裁判を行うことを求めている。
11	2階	歴史	玉里島津家	島津久光手記(西南戦争当時の覚書)	西南戦争が始まると久光、忠義らは桜島に避難した。戦後は、玉里邸の再建まで指宿に逗留した。
12	2階	歴史	玉里島津家	指宿二月田御庭絵図	指宿の二月田には、島津家ゆかりの「殿様の湯」があり、歴代の藩主もたびたび訪れている。久光もここに逗留した。

※11月26日～12月25日に新しく展示した資料です。